

MiteMite

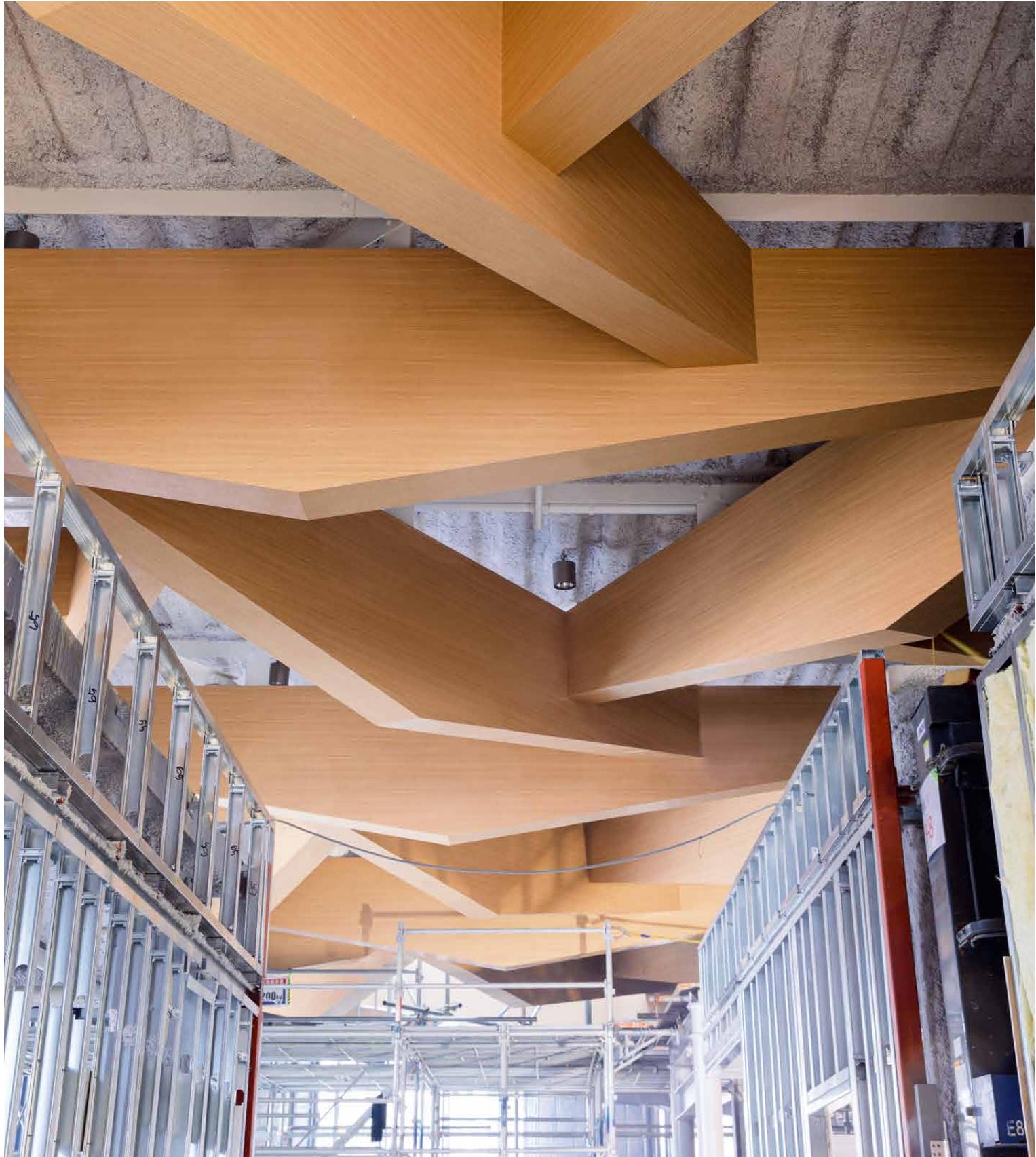
「人と、街と、劇場をつなぐ。」 オーバード・ホール情報誌

2023-winter
VOL.

75



AUBADE HALL



AUBADE SYMPHONIC WAVE 2023



稲垣潤一 Junichi Inagaki

1953年7月9日生まれ、仙台市出身。中学時代から本格的なバンド活動を始める。高校卒業後、ライブハウス、ディスコ、米軍キャンプなど様々な場所でライブ活動をする中、ドラムを叩きながらのボーカルというスタイルで注目を浴び、1982年「雨のリグレット」でデビュー。「ドラマティック・レイン」(1982)や「夏のグラクション」(1983)「クリスマスキャロルの頃には」(1992)他、数々のヒット曲で日本を代表するAORシンガーとしての地位を確立。

昨年、大好評を博したポップス＆オーケストラによる音楽の祭典「AUBADE SYMPHONIC WAVE」を今年も開催！ 純爛豪華なコンサートをお届けします。指揮は国内外のクラシック界で今注目の柳澤寿男さん。国内・欧州の名手たちが結集したオーケストラ・アンサンブル金沢を率います。そして、華麗でダイナミックなオーケストラと競演するのは、日本のポップス音楽シーンを彩るアーティストたち。今回初出演となるアーティストから、稲垣潤一さん、森高千里さんのお二人に本公演への思いについてメールインタビューを行いました。



02

オーバード・ホールが贈る、一度きりの贅沢な響演。

稻垣 潤一

interview

——『SYMPHONIC WAVE 2023』での見どころ、聴きどころを教えていただけますか。

オリジナルサウンドとは異なり、全て生楽器で演奏されます。その有機的な音の流れに僕の歌をどうのせることができるか。楽しみでもあります。ちょっと緊張感も伴います。良い緊張感を保ちながら、オーケストラの皆さんと息を合わせて歌わせていただきます。

——オーケストラとの共演への思いや特別な心構えはありますか。

バンドからキャリアをスタートさせ、昨今、色々なジャンルの方とコラボレーションさせていただいている。その都度、気付きや発見もありますが、自分が目指す“いいうた”を歌うことに全力を傾けています。

——「歌うこと」そして「叩き語り」についてお聞かせください。

歌うことは、大袈裟にいえば、人生のミッションだと思います。叩き語りは、今や絶滅危惧種みなに少なくなっています。年とともに大きな部分もあります。しかし、叩き語り、一生やっていくつもりです。

——東北楽天ゴールデンイーグルスのファンクラブ名誉会員であり、カーレースのチーム監督のご経験など、音楽に加え多岐に渡り活動されていますが、“いま”ご興味のあることは。

岡山で開催されるラリーイベント「ベッキオ・バンビーノ」に何度も参戦させてもらっています。ただ、最近はスケジュールが合わず参戦できていませんが、また参戦したいものです。今、ステージ上にはドラムセットしかない、「一人叩き語り」を計画中です。伴奏は、Seq(シーケンス)を受け持ります。あまり見かけないライブになると、いつも披露できるタイミングを見計らっています。



——それらに共通することは、何でしょう。

ワクワクすることをやっていきたい、そこが活動の基本と考えています。

——近年も富山へご来訪されていますが、印象は。

2019年以来のコンサートになりますが、白エビが好きで、特に白エビのかき揚げが好物です。もちろんホタルイカも好きですね。この時期は、やはり寒ブリでしょうか。食の話題ばかりになってしましましたが(笑)時間があればゆっくり観光もしたいものです。

——富山の皆さんへメッセージをお願いします。

久々の富山でのライブを楽しみにしています。皆様も、僕の代表曲がどう生まれ変わったか、お楽しみください。

森高 千里

interview

——『SYMPHONIC WAVE 2023』への意気込みや、特別な心構えはありますか。

オーケストラの皆さんと共に演るのは、私の場合経験が少ないのですが、いつものステージよりも緊張すると思いますが…迫力満点の演奏で歌えることを楽しみにしています。

——森高さんの書かれる詞は個性的でコケティッシュさを感じられます。作詞のインスピレーションが湧くのはどのようなときですか。

最近は作詞はしていませんが、以前は曲をもらって何度も聞いてそのイメージで作詞をしていました。ほとんどひらめきみたいな感じで書いていましたね。

——デビュー35年。歌声も美貌もいつまでも瑞々しく魅力的です。秘訣を教えてください。

とにかくコンサート(LIVE)が大好きなので、大好きな歌をステージで歌って踊ってられることが元気の源だと思います。

——昨年(2022年5月)もツアーで富山へご来訪されていますが、印象はいかがですか。

2022年は魚津市でのコンサートでしたが、とっても皆さんノリが

迫力満点の演奏で歌えることを楽しみに



森高千里 Chisato Moritaka

1969年生まれ、熊本県出身。幼少期からピアノを習い、高校時代にドラムを始める。1987年5月25日シングル「NEW SEASON」でデビュー。楽曲「ミーハー」から作詞を始める。2022年5月25日にデビュー35周年を迎え、35周年のコンサートを行なっている。レギュラー：フジテレビ系「Love Music」、ニッポン放送「オールナイトニッポンMUSIC10」第2水曜日。

良くて、盛り上げてくださいました。とっても楽しいコンサートでした。本番前に蜃気楼を見に港に行ったんですが、残念ながら見ることはできませんでした。「ほたるいか飯」がめちゃくちゃ美味しい驚きました。また食べたいですね。

——富山の皆さんへメッセージをお願いします。

富山でまたコンサートに参加できてとても嬉しいです。ぜひ、皆さん楽しんでくださいね!!

公演情報

令和4年度富山県企業メセナ文化ホール事業 特別協賛：トヨタモビリティ富山株式会社

AUBADE SYMPHONIC WAVE 2023

◆日時：2023年2月23日(木・祝)15:00開演 指揮：柳澤 寿男

◆会場：オーバード・ホール

管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

出演



ASKA

岩崎 宏美

稲垣 潤一

KAN

佐藤 竹善

森高 千里

川井 郁子

◆チケット：[全席指定・税込]

一般：7,000円 U-25:3,000円

完売しました

※U-25：鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。

※未就学児入場不可。

小中高生
ご招待

トヨタモビリティ富山株式会社様のご協賛をいただき、富山県内在住の小中高生200名様を本公演にご招待します。※ご応募の受付は終了しております。

◆プレイガイド：アスネットカウンター

★チケットのお求めはP11「チケット購入方法」をご覧ください。

※やむを得ない事情により、出演者等が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

02

03

音楽とアートのお花見会

Raku-Ichi Raku-Za

其の参

3.25(sat) — 26(sun)

会場：オーバード・ホール（舞台上、ホワイエを中心とした周辺）、富山駅周辺 ほか

“樂”に観て聴いて、“楽しく”体感♪

桜より一足早い、パフォーマンス開花宣言

音楽・演劇・パフォーマンス・ライブペイント・ダンスなど、ジャンルを超えたアートがあちらこちらでカオスとなって繰り広げられるオーバード・ホールの感謝祭「樂市樂座」。今年は無料ステージに加え、ひびのこづえ新作ダンス作品（舞台上特設シアター他）や、尾崎豊展＆特別企画（富山市民プラザ他）など、劇場を飛び出した新企画も！ まさにお花見のように、お好きな場所でお楽しみください。



お花見ステージ

◆出演アーティスト



WE♥MUSICALキャラバン隊
(ミュージカル&ヴォードビル)



開運姉妹／開運舞踊団
(コンテンポラリーダンス)



切腹ピストルズ
(笛・三味線・太鼓)



タナカシュウヘイ Rebelman★Army
(ライブペイント)



桐朋アカデミー木管五重奏団
(木管五重奏)



HIBI★Chazz-K
(ストリート・ジャズ・サックスアンサンブル)

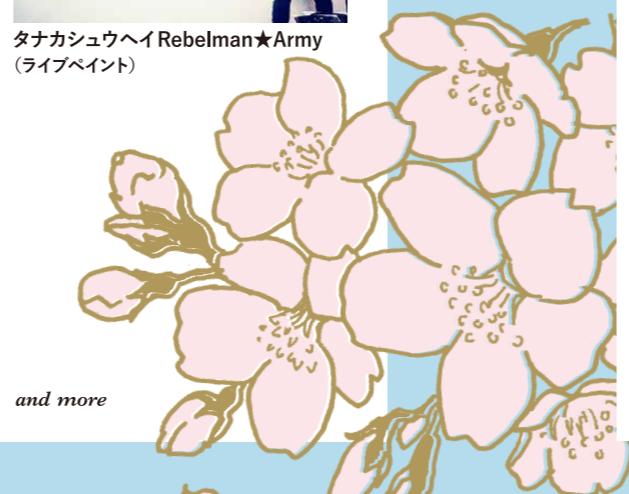


BLACK BOTTOM BRASS BAND
(ニューオリンズジャズ)

無料



and more



オーバード・ホール×ひびのこづえ DANCE 2

日本の第一線で活躍するコスチューム・アーティスト、ひびのこづえを迎えて、富山発の新作ダンス作品を発表！

◆会場：オーバード・ホール舞台上特設シアター ほか

◆日程：3月25日(土)、26日(日) ※一部3月1日(水)～26日(日)

詳しくは次のページへ▶



photo: Isamu Uehara

有料

オーバード・ホール×富山市民プラザ 「OZAKI30 LAST STAGE 尾崎豊展 THE FINAL」

富山会場のみ場内撮影解禁！

尾崎が生前愛用した楽器や創作ノート、写真、楽譜、衣装など貴重な資料を展示。

◆会場：富山市民プラザ アートギャラリー

◆日時：3月17日(金)～26日(日)11:00～18:00

詳細はP10へ▶



特 別企画

オーバード・ホール×富山市民プラザ 「OZAKI30 LAST STAGE 尾崎豊展 THE FINAL」

富山会場のみ場内撮影解禁！

尾崎が生前愛用した楽器や創作ノート、写真、楽譜、衣装など貴重な資料を展示。

◆会場：富山市民プラザ アートギャラリー

◆日時：3月17日(金)～26日(日)11:00～18:00

詳細はP10へ▶

有料

特 別企画

「失くした1/2 ～須藤晃が尾崎豊を語る～」

◆会場：富山市民プラザ アンサンブルホール

◆日時：3月17日(金)19:00開演

詳細はP10へ▶

無料

特 別企画

尾崎裕哉スペシャルライブ「Father's Son」

◆会場：富山市民プラザ アンサンブルホール

◆日時：3月18日(土)17:00開演

詳細はP10へ▶

有料

特 別企画

「君とOZAKIを踊りたい」

尾崎のナンバーで踊る市民参加企画。尾崎の名曲を歌と踊りで表現します。

◆会場：富山市民プラザ アトリウム

◆日時：3月25日(土)13:30開演・26日(日)12:30開演

詳細はP10へ▶

無料

特 別企画

「君とOZAKIを歌いたい」—セントラム企画

公募で選ばれたアーティストが、尾崎の名曲をセントラム内で熱唱します。

◆会場：セントラム車両内

◆日程：3月25日(土)



詳細はP10へ▶

有料

「OZAKI30 LAST STAGE」富山会場特集サイト▶



オーバード・ホール×ひびのこづえ DANCE2

衣装：ひびのこづえ

interview

テレビ、演劇、ダンス、映画、広告など日本の第一線で活躍するコスチューム・アーティスト ひびのこづえを迎えて、新作ダンス作品を制作します。テーマは、私たちが暮らす「富山」。立山連峰、富山湾、チューリップ、五箇山合掌造りなど富山の豊かな自然や原風景を独創的な衣装に仕立て上げ、ユーモアたっぷりにダンスで描きます。この作品を通して自分の街がもっと好きになる、アートと地域が繋がる新たな試みに挑戦します。その衣装づくりの中ひびのこづえさんに作品制作の思いについてお聞きしました。



——ひびのさんといえば、従来の「衣装」の概念を超える作品と舞台を次々と作られています。パフォーマーのキャラクターを引き出すような作品から、衣装が作品の中核を占め、ときには舞台セットと見まごうようなものまで。ひびのさん自身がプロデュースする作品も多数あり、2022年は東京芸術劇場で4作品を一挙に上演されました。

今回はオーバード・ホールと共に制作させていただきます。コンセプトは富山の様々な魅力を紹介すること。タイトルの『T Y M traveling your memory あなたの記憶を旅する』は、富山(ToYaMa)の頭文字からの発想です。ただ作品としては、富山の魅力を通して日本中に息づく様々な素晴らしい自然や土地に根付いた文化と響き合うものにしたい。そう検討する中で旅(Traveling)が出てきて、このタイトルに落ち着いた感じです。



——作品の中で「三人の旅人が富山を巡っていく」わけですが、ひびのさんの衣装の力で彼らが「富山の名所や名物そのものになってしまう」のがユニークですね。

キーワードになるのが、彼らが持っている旅行用トランクです。旅の象徴でもあります、越中八尾おわら風の盆の笠になったり、世界遺産である五箇山の合掌造りの藁葺き屋根に変化していく。また出演者のひとりの五十嵐結也さんは雄大な自然の中で長く真っ赤なフンドシを空中に舞わせるアーティスティックな写真で有名な「フンドシ・ダンサー」なんですが、今回はフンドシが富山の河の流れを表現します。

——フンドシで河を!?

はい。そして河が合流する富山湾は、幅5メートルもある巨大なドレスで表現する予定です。裾の中にはバルーンが入っていて、大きく立体的に広がります。そこにダンサーの動きが生命力を吹き込むことでしょう。

——それにしても「名所・名物を衣装で表現する」というのは面白い試みですね。

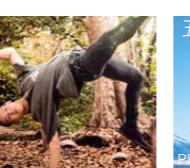
まだ苦心しているのが、立山連峰をどう衣装で表現するか、なんです。私自身、富山を訪れるたびに、一番大きなインパクトを感じる存在なんですよ。でもあの大きさ、鋭さ、そして動かない(笑)ので大変ですが。でも挑戦こそお客様の喜ぶ顔につながるので、必ずクリアします!

——今回出演する三人のダンサー達についてうかがえますか。それぞれユニークな方々ですね。

Chikakoさんと陸さんは、東京オリンピックで『わっさい』という配信用のパフォーマンス映像を創ったときに一緒にしました。Chikakoさんはそのとき木の衣装を着ていただいたんですが、動きも併まいも独特な空気感のある方でした。陸さんはトリッキングという、アクロバティックな動きが得意で、炎の衣装が素晴らしいマッチしていました。二人とはまた一緒にやりたいと思っていました。

——そして先ほど出たフンドシ・ダンサー五十嵐結也さんですね。

もう一人、あの二人と会って化学反応を起こしそうな人が欲しくて、お願いしました。彼はダンスも演技もできますし、濃厚なキャラクターが素敵です。



——個性豊かな面々ですね。

それぞれ自分がバラバラのが良いですよね。三人の個性を生かせる作品にしたい。陸さんの激しい動きにChikakoさんの柔らかいダンスや歌が入ったり、五十嵐さんは笑いの要素もあるので空気をガラッと変えられそう……。とにかく今までにはないパフォーマンスにしたいですね。

——ふつう衣装は動きの邪魔にならないようなものをイメージしますが、ひびのさんの場合、あえてダンサーの動きを制限するデザインもありますね。

はい。動きにくい衣装に対するリアクションから新たな動きが生まれてくることもありますから。でもChikakoさんと陸さんには『わっさい』の衣装はとても動きやすかったといってもらえて、涙がでそうになりました。

——クリエイションはどのように進んでいくんですか。

まず出演者と音楽家に衣装のデザインとストーリーを渡し、それぞれに考えてもらっています。全体の流れは私が決めますが、動きは三人に作ってもらい話し合う感じですね。音楽家の小野龍一さんは既に3作品を作っているので、今回はやり方を少し変えてダンサーを含め皆でアイデアを出し合う試みにトライしようと考えています。

——「ストーリーや音楽ができたあとに衣装」ではなく、逆の順番ですね。

私が関わるパフォーマンスではいつも『稽古の初日には衣装合わせをしたい』と思っています。本番の衣装をリハーサルの段階から着て、どんどん動いて身体に馴染ませて、動きのアイデアを膨らませます。伸びる素材をどれくらい伸びばすか、動いてみないとわかりませんからね。でも私は衣装を作りますが、レースのタイツ一枚で踊る凝った衣装ではないシーンこそがメインだと思っています。やはり一番美しいのは身体なので、衣装はどんどん脱いでくれていい。

——最後に、どんな舞台にしたいですか。

コンテンポラリーダンスは難解だと思う人もいますが、ダンス好きな人も、見たことない人も、全ての人が楽しめる作品を目指します! 子供から若い人はもちろん、おじいちゃんおばあちゃんも孫と一緒に、ぜひオーバード・ホールへいらしてください!

聞き手・文 乗越たかお(作家・ヤサぐれ舞踏評論家)



公演情報

オーバード・ホール×ひびのこづえ DANCE2

ユニークな衣装・音楽・パフォーマンスでつくる2作品を上演します。

- ◆ 衣装：ひびのこづえ
- ◆ 会場：オーバード・ホール舞台上特設シアター

T Y M traveling your memory (上演時間50分)

チューリップに五箇山、黒部、立山連峰。富山の風景を次々に衣装とダンスに仕立てた富山発のパフォーマンス。言葉を超えたTOYAMAのストーリーに見るにもそれぞれの旅が始まります。

- ◆ 日時：3月25日(土) 15:00開演
3月26日(日) 11:00開演／15:00開演
- ◆ パフォーマー：Chikako Takemoto、陸、五十嵐結也
- ◆ 音楽：小野龍一



UP AND DOWN

(上演時間50分)

おとぎ話は、悪いこともあるけれど、最後はいつでもハッピーエンド。人生もおとぎ話のようにUp and Down。ダンサーが「裸の王様」「三匹の子豚」「シンデレラ」「赤ずきん」に変身しながら、転がるようになります。

- ◆ 日時：3月25日(土) 13:00開演
3月26日(日) 13:00開演
- ◆ パフォーマー：大宮大撰、川合ロン、高村月
- ◆ 音楽：原摩利彦



チケット [全席指定・税込]

- 1公演：おとな2,000円／こども1,000円
- 2公演セット券：おとな3,600円／こども1,600円
- ※0歳から入場可能。未就学児は膝上無料。※18歳以下の方は、こども料金。
- ◆ プレイガイド：アスネットカウンター
- ★チケットのお求めはP11「チケット購入方法」をご覧ください。

関連企画

ダンスワークショップ

- ◆ 日時：3月18日(土)①11:00～／②13:00～／③15:00～
- ◆ 会場：オーバード・ホール リハーサル室 (各クラス60分)
- ◆ 参加費：各クラス500円

オーバード・ホール×MAROOT

「ひびのこづえ ちいさな生きものブローチワークショップ」

- ◆ 日時：3月11日(土)・12日(日) 各日13:30～
- ◆ 会場：MAROOT4階 森のあそびば
- ◆ 参加費：1,000円

オーバード・ホール×MAROOT
「ひびのこづえ ポップアップショップ」 入場無料

- ひびのこづえデザインの衣装展示のほか、ハンカチ、タオルを販売。
- ◆ 期間：3月1日(水)～26日(日)10:00～20:00
- ◆ 会場：MAROOT1階 マルクス

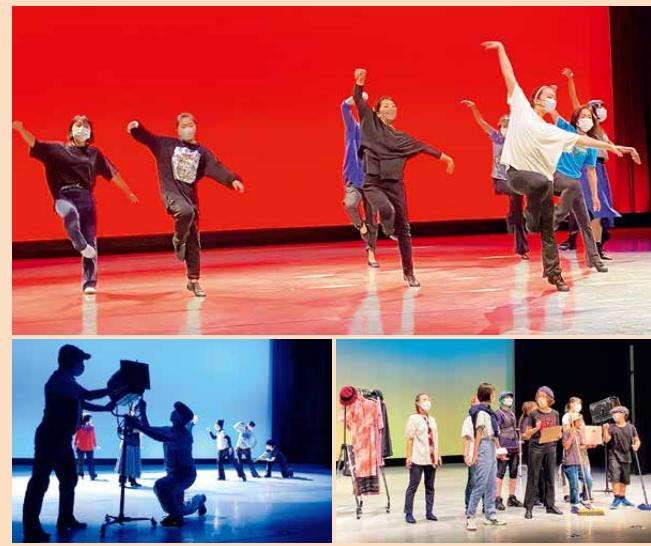
申込方法・詳細：

オーバード・ホールHP内特集ページをご覧ください。▶



見たことのない旅する富山ストーリー。

2022年にオーバード・ホールが開催した3つのワークショップ。
参加者の皆様からいただいた感想とともにご紹介します。



参加者コメント
▶「とても楽しかったです。レッスンが終わってから“早く明日行きたい”と思うぐらいでした。」▶「自分を輝かせるために参加しました。願いが叶って嬉しく、最後泣きそうになりました。」

[WE♡MUSICAL] [オープンクラス 2DAYS] 2022.6.11・12
[シーンスタディ 3DAYS] 2022.9.17~19/10.8~10

みんなで創り上げたミュージカル!

ダンスや歌、演技の基礎を教わる初心者大歓迎の「オープンクラス」と、名作ミュージカルのワンシーンを3日間で創り上げる「シーンスタディ」の2シーズンで開催しました。第一線で活躍中の講師陣と受講生の熱意に満ちた濃厚な時間となりました！

講師：本間憲一さんコメント

「ワークショップのご縁で10年以上のお付き合いがある富山は、私にとって第二の故郷です。コロナ対策をしながらの厳しい状況でしたが、前向きで一生懸命頑張っている生徒の皆さんには逆にパワーをもらいました。早く、マスクを外した皆さんの笑顔と表情が見られることを願っています。」



【今後のパフォーマンス予定】

WE♡MUSICAL発のキャラバン隊が、楽市楽座でパフォーマンス！富山駅では皆さんを名作ミュージカルの世界に誘います。ぜひお気軽にご観覧ください♪

【コミュニティ・アーツ・ワークショップ】

【みんなでおどろう！】こども部 2022.8.6・7、おとな部 2022.8.21
【からだ、おと、おどる！】こども部 2022.9.4/[おどるって、とってもノンバーバル!] 2022.10.1・2

ふりつけもルールもないダンス！

今回新設の「からだ、おと、おどる！」では、アーティストたちによるオリジナル楽器も登場。ダンスカンパニー「あら・おるズ」のメンバーも一緒に踊りました。前回も人気だった「おどるって、とってもノンバーバル！」では、青空のもと芝生でおどる時間も。ふりつけもルールもないダンス！気になった方は、次回ぜひ一緒に踊りましょう！

講師：ダンスアーティスト なかむらくるみさんコメント

「音を聴くのも、音を奏でるのも、おどるのも、おどりを見るのも、全部からだがあるからこそできること。いろんなバランス、いろんな個性の波が交差するなかで、楽しい時間を過ごしました。」



photo:KATO TOMOKO

ワークショップ風景の映像は、こちらから



参加者コメント

▶「ノンバーバル！」言葉がなくつながれたら…子供もお年寄りも外国の方も宇宙人も関わったり同じ空気が楽しめたり、お互いに関心もちあったり、刺激しあったりできるんだろうな。」▶「ダンスをするにつれてどんどん人が開放的になって心地よく踊っている雰囲気があって、とてもよかったです。」



[KENTO MORI DREAM DANCE PROJECT]

[TOYAMA SCHOOL PROJECT] 2022.9.29・30
[LIVE PROJECT] LESSON 2022.10.1・15・29 / STAGE 2022.11.12

富山を世界へ！ Dance is 1！

「TOYAMA SCHOOL PROJECT」では、KENTO&ASAHIが水橋中学校、三成中学校、城山中学校の2学年の生徒たちとダンス！経験のない生徒が大半でしたが、最終的には大熱狂！ダンスでひとつになりました。

また、「LIVE PROJECT」では、KENTO、ASAHI、MION、3人の講師から魂のこもる熱いレッスンを受けた4歳から64歳までの90名が総曲輪通りを練り歩き、グランドプラザに集結。「いっしょに、踊ろう！」の言葉のもと、ダンサーも、観覧者も、富山市長も踊りまくる最幸の景色がそこにありました。

参加者コメント

▶「ダンスを続けることに少し迷っていたけど、楽しさを思い出して続けようと思えました。」▶「昨年、オーバード・ホールでのステージを客席から一緒に観ていた息子が『あのステージにあがったらダメなん？』と。KENTOさんの踊りに目がくぎ付け♡今回KENTOさんと踊る機会をいただけたことに感謝しています。また一緒に踊りたいです！」

その舞台が、心の糧になると信じて。



劇場で公演を楽しむことができるは、演者はもちろんのこと、それを影で支える人がいるから。開演前の準備をする現場に潜入して、その仕事を探ります。



ライター上坂真紀の

「劇場を支える人々」



おもてなしの心を大切に。

オーバード・ホールの館長は、館長室でしか会えない遠い存在なのだろう。そんな私の勝手なイメージが、大きな間違いだったことを知ったのは、つい最近である。

清水孝夫館長は2021年4月の就任以来、主催公演の際にはオーバード・ホールのスタッフとともにホワイエに立ち、多くの観客を温かく出迎えている。もちろん終演後のお見送りも欠かさない。そんな清水館長には、忘れられない出来事がある。コロナ禍の影響で度重なる公演中止の中、久しぶりに幕を開けた2021年5月の「弧の会×若獅子会」終演のこと。「ご高齢のお客様から『良いものを見せてもらいました』という言葉をいただきました」と話す清水館長。主催側と観客、その二つの心がリンクする場を大切にしていることが、オーバード・ホールの魅力につながっているのだろう。

いつでも現場目線で。

オーバード・ホールの主催事業は、実に多彩だ。同ホールでの公演はもちろんのこと、富山市民プラザや公民館など劇場の枠を超えてコンテンツを提供し、さらに、ワークショップなど一般の人々が参加できる機会も用意している。参加者は老若男女幅広く、障がいの有無なども企画によってさまざまだ。多様性を大切にしているという清水館長は、外に足を運び、自ら体感することも極力欠かさない。時には自らがワークショップに参加し、一緒に踊ることもあるという。

館長 清水孝夫
Takao Shimizu

富山ガラス工房、富山市立図書館などでの職を経て、オーバード・ホール館長に就任。趣味はMacでの曲作り。Youtubeで「oktzms」を検索すると、オリジナル曲を聴くことができる。

ダンスアーティスト・KENTO MORIの「LIVE PROJECT」では、劇場を飛び出して初めて街中広場のグランドプラザでダンスを発表した。新たな試みが形となっているのは、清水館長がスタッフのチャレンジ精神を高める環境づくりを心がけていることが大きい。

興味の対象が広く、好奇心が旺盛な方なんです」とスタッフの方が言われるように、SNSを活用した公演告知をプライベートでも発信している。投稿が習慣化した今は、双方向のコミュニケーションを育む方法を模索中だ。自らのチャレンジ精神も旺盛である。

心の糧を、これからも。

中学の時に音楽に目覚める。高校でギターを始め、大学では軽音楽サークルのフルバンドに所属。そして今は、かつての職場の仲間で構成されたバンドのメンバーとして活動している。また、日本のジャズ界を牽引してきた富山市出身のミュージシャン、故・原信夫さんの存在を知り、その功績を伝えることで、富山にプライドをもてる人を増やしたいと思うようになったという。音楽の力を知っている清水館長だからこそ、秘められた想いである。

「芸術文化は不要不急ではなく、人が生きるうえで必要な心の糧だと感じています」と清水館長。

思えば、昨年3月の「楽市楽座」を観た時は音楽や演劇、ダンスなど多様なアートに刺激を受けた。劇場の規制が徐々に緩和され、活気が戻ってきていたことも嬉しかった。今年もジャンルを超えた表現の数々にたくさんの元気をもらえそうだ。

主催公演情報

2/17 Fri 市民のためのランチタイム
ジョイフルコンサート Vol.87

富山で活躍する音楽家たちによるコンサート。心豊かなランチタイムのひととき。

- ◆出演=一ノ瀬浩子(フルート)、緒方里珠(フルート)、長田みなみ(フルート)、小西杏奈(フルート)
- ◆時間=11:50~12:50
- ◆会場=富山市民プラザ アトリウム

入場無料 ※状況によっては入場者数を制限する場合がございます。

3/14 Tue 十三代目 市川團十郎白猿 襲名披露巡業

市川海老蔵が十三代目市川團十郎白猿を襲名!市川團十郎という大名跡が9年ぶりに復活!

- ◆ 演目=歌舞伎十八番の内『勧進帳』／口上 ほか
- ◆ 出演=市川團十郎、中村梅玉 ほか
- ◆ 開演=12:30
- ◆ 会場=オーバード・ホール
- ◆ 料金=[全席指定・税込] S席 12,000円 A席 10,000円 B席 8,000円

完売しました

3/17 Fri 「OZAKI30 LAST STAGE」特別企画
失くした1/2 -須藤晃が尾崎豊を語る-

尾崎豊のプロデューサー須藤晃が、尾崎との出会い、今なお心に残るエピソードを会場限定で語ります。

- ◆開演=19:00
- ◆会場=富山市民プラザ アンサンブルホール
- ◆定員=先着280名(定員に達し次第、受付を終了します)

入場無料(要事前申込)

オーバード・ホールHP内 特集ページよりお申し込みください。

完売しました

3/27 Mon 市民のためのランチタイム
ジョイフルスペシャルコンサート Vol.88

今年度のジョイフルコンサートを締めくくるスペシャルコンサート。

- ◆出演=發田桃花(ヴァイオリン)、清水慧衣・藤井アリ沙(ピアノ連弾)、山元三奈(ソプラノ)、相山知範(ピアノ)
- ◆時間=11:50~12:50
- ◆会場=富山市民プラザ アンサンブルホール

入場無料 ※状況によっては入場者数を制限する場合がございます。

一般発売日: 2月25日(土) ~

U-25: 25歳以下対象の座席引換券。座席はお選びいただけません。
公演当日、当日券窓口で身分証をご提示の上、入場券とお引換ください。
※年齢による入場制限については、各公演で異なります。

3/17~26 Fri~Sun オーバード・ホール×富山市民プラザ
「OZAKI30 LAST STAGE 尾崎豊展 THE FINAL」

尾崎豊が生前愛用した楽器や創作ノート、写真、楽譜、衣装など貴重な資料を展示する「尾崎豊展」のファイナルが、富山で開催。

- ◆時間=11:00~18:00(会期中無休)
※3/17(金)のみ19:00まで延長開催
※入場は閉場の30分前まで
- ◆会場=富山市民プラザ アートギャラリー
- ◆料金=[税込] 一般 1,300円(前売 1,000円)
小学生以下無料

好評発売中

2/3 Fri~7 Tue 第33回 富山市美術作家連合会展
併催/第15回飛越交流美術展

富山市内を拠点に活躍する美術作家たちの作品を一堂に展示します。今年度は、飛騨市との「飛越交流美術展」も同時開催します。

- ◆時間=10:00~17:00
※最終日は16:00まで
- ◆会場=富山市民プラザ

入場無料

アスネット ...アスネットチケット取扱い

主催イベント情報

一期 2/3 Fri~7 Tue 第33回 富山市美術作家連合会展
併催/第15回飛越交流美術展

富山市内を拠点に活躍する美術作家たちの作品を一堂に展示します。今年度は、飛騨市との「飛越交流美術展」も同時開催します。

- ◆時間=10:00~17:00
※最終日は16:00まで
- ◆会場=富山市民プラザ

入場無料

AUBADE HALL calendar 2023.2~3

2 23(木・祝)	AUBADE SYMPHONIC WAVE 2023	問 富山市民文化事業団: 076-445-5610 アスネット
3 4(土)	MAKI OHGURO 30th Anniversary Best Live Tour 2022-23 -SPARKLE-Season III Powered by CHAMPAGNE COLLET	問 FOB金沢: 076-232-2424 アスネット
14(火)	十三代目 市川團十郎白猿 襲名披露巡業	問 北日本放送: 076-432-5555 アスネット
15(水)	劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがつた猫」	問 劇団四季 全国営業部: 0570-008-110 アスネット
21(火・祝)	友井賢太郎コンサート スイングしようぜ! 19	問 有限会社 友井音楽事務所: 076-493-0684 アスネット
25(土)・26(日)	樂市樂座 其の参	問 富山市民文化事業団: 076-445-5610 アスネット

オーバード・ホール × 富山ステーションシティ「シアターヨガ」
THEATER YOGA

2023年3月19日(日) オーバード・ホール 舞台上 参加料金: 各クラス 3,000円(税込)

人気企画が再び! 生演奏に包まれ、特別な空間でのヨガを是非体感してください。初心者の方も楽しんでご参加いただけるプログラムです。

◆ 音楽監修・演奏: ヤマダベン

| クラス |

10:00 ~ 11:00 身体目覚める Wake up yoga インストラクター: Mari	12:00 ~ 13:00 身体と心のハーモニー インストラクター: RIEKO
14:00 ~ 15:00 Spring flow yoga インストラクター: AYANO	16:00 ~ 17:00 めぐりを整えるリラックスヨガ インストラクター: 宮田美里

| 詳細・チケット購入 | 特集ページはこちら

◆ プレイガイド: アスネットカウンター
◆ マルート・とやマルシェ・マリエとやまで使える『エムプラスカード 会員様限定』申込窓口もございます。
詳しくはごちら

チケット購入方法

アスネットカウンターで
お買い求めください。

インターネット

アスネットオンラインチケット
www.aubade.or.jp
24時間予約可能

※ご利用の際には会員登録が必要です。

**オーバード・ホール会員システム
「アスネット」**

会員登録はオーバード・ホール HPへ

電話予約

アスネットカウンター(オーバード・ホール1F)
TEL. 076-445-5511
10:00 ~ 18:00
定休日: 月曜(月曜が祝日の場合、翌平日休み)

窓口販売

アスネットカウンター(オーバード・ホール1F)
TEL. 076-445-5511
10:00 ~ 18:00
定休日: 月曜(月曜が祝日の場合、翌平日休み)

お得に楽しくシアターライフを満喫するためのオーバード・ホール会員システム。
ご登録いただくと、インターネットで24時間チケットのご予約が可能です。

▶アスネット会員(年会費: 1,800円)
特典 公演チケットの先行販売

▶アスネット会員(年会費: 無料)
特典 Mite Mite や公演情報のメールマガ配信

オーバード・ホール公式SNSでは、主催公演などの最新情報を随時アップしています。
ぜひフォロー&いいね!してください♪

交通のご案内

鉄道利用: 富山駅下車、北口正面から徒歩2分
航空利用: 富山空港よりタクシーで約25分、バスで富山駅まで約30分
お車利用: 北陸自動車道 富山IC出口から約20分

オーバード・ホール(富山市芸術文化ホール)
〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28
TEL.076-445-5620
<https://www.aubade.or.jp>

最新情報はHPをご覧ください

ミテミテ 75-2023.Winter号
発行日: 2023年2月9日
発行所: 公益財団法人 富山市民文化事業団
TEL.076-445-5610 企画・編集: Mite Mite編集室
Design: CROSS
Cover Photo: オーバード・ホール/中ホール 建設風景
撮影 今寺学

新しい竜宮城へようこそ

富山の冬といえば雪景色。僕は東京に50年住んで一昨年故郷富山に戻った。理由はいくつかある。自分が長い間生業としてきた音楽プロデューサーの経験を活かして文化芸術の振興に少しでも役立てたらいいという考えももちろんあります、コロナで生活スタイルが激変してしまうだろうという懸念と諦観もあった。だが本当の理由は射水市にある自分の生家に住みたいと思ったことが一番である。

ブルース・スプリングスティーンが1982年に発表した「ネブラスカ」というギター弾き語りのアルバムに「My Father's House」という曲がある。これは彼が自分の生家のことを歌っているんだが、それを親父の家と表現していて、ある日そこを訪ねたらもう別の人気が住んでいた、というような内容だった。僕はずっとその詩を忘れられていなかった。そして両親が亡くなり、自分の生家を壊すか売るかという話が持ち上がり、僕は反射的にそこに自分が住まなくてはいけないと思ったわけで、それで兄妹を説得して富山に帰ったというのが本当の事情である。それから僕は子供の頃のままの自分になった。

劇場体験というのは最初は高岡市民会館での「ザ・タイガース」公演。中学生の頃。沢田研二さんと照明や音に打ちのめされ、その次は富山市公会堂での森山良子さんのコンサート。この二つがそれからの自分の人生の方向づけをしたような気がする。劇場はまさに田舎の子供にとっては龜に連れられて行った竜宮城だった。魂が揺さぶられる体験というのはそうない。僕がオーバード・ホールの仕事を引き受けた理由はこの興奮を今の子供達に体験してもらいたいからである。僕はあの日、会場から持ち帰った玉手箱を開けてあっという間に時間が経ってしまった。運良く富山市はオーバード・ホールの隣に新しい劇場を用意してくれたのである。この竜宮城に少しでもたくさん的人が夢を見にきてくれたらと思います。みんなで新しい劇場を煌びやかな素敵な場所にして下さい。

文：芸術監督 須藤晃



須藤晃 Akira Sudo：(公財)富山市民文化事業団 芸術監督。1952年生まれ、富山県射水市出身。(株)カリントファクトリー代表取締役、音楽プロデューサー。尾崎豊、村下孝蔵、浜田省吾、玉置浩二、石崎ひゅーい等をプロデュースするとともに音楽制作のパートナーとして数々の名曲を発表。言葉にこだわったプロデューススタイルでメッセージ性の強い作品を生み出し続けている。